

新年のご挨拶

「飛躍の年を目指して」



社会福祉協議会  
会長 山岸 秀男

なさんはもとより、各関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

新年あけましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より地域福祉の推進に特段のご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、総合福祉センターでは、毎月1回イベントを開催し、町内外の方々にご来館いただけるよう努めてまいりました。また、デイサービスセンターでは、町内の接骨医院にご協力をお願いし、ハビリの強化を図り、非常に好評を得、利用者の増加につながることができました。町民のみ

ピード感を持って取り組み「制度があるからではなく、ニーズがあるから」という思いでさらなる事業を実施できるよう心がけております。

社会福祉協議会では、昨年4月より総合福祉センター、デイサービスセンター、障害者生産活動センター、障害者デイサービスセンターの4施設を指定管理者として指定され、経費削減と併せてサービス向上という課題の中で事業を展開してまいります。町民一人ひとりの声に耳を傾け、新しい発想で事業を展開して行けるよう進めてまいります。

今年には巳年でございますが、巳年というのは脱皮の年です。蛇は脱皮を繰り返して大きく成長するものです。私も社会福祉協議会も昨年より脱皮をして大きく成長してまいりました。この超高齢化社会の中、高齢者からのニーズを把握し、今までの経験と知識を踏まえ、制度の谷間や潜在化している問題にス

今後とも当協議会の事業につきまして、町民各位、町や議会、関係機関のさらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



福祉バザー盛況

収益額 798,279円

去年11月25日(日)に、総合福祉センターにおいて福祉バザーが開催されました。

町民の皆様から善意で寄付していただいた商品は、福祉センターを埋め尽くすほどたくさん集まりました。

前日の準備では各行政区長と板倉町ボランティアのみずほ会の皆様にご協力いただき、寄付品(バザー品)の搬入や準備等が行われました。

当日は、朝早くからたくさんの方々が希望の商品や思わぬ掘り出し物を求めて来場され、福祉センターに長蛇の列ができるほどでした。

開場と同時に福祉センター内は子どもからお年寄りまで幅広い世代の人たちで賑わい、大いに盛り上がりました。

バザー品を寄付していただいた町民の皆様をはじめ、物品回収にご協力いただいた各行政区長の皆様、そして準備と当日バザー物品販売、模擬店(焼きそ

ば、赤飯)にご協力いただいた板倉町ボランティアのみずほ会の皆様方には、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

なお、バザーの収益金は町内高齢者世帯、ひとり暮らし高齢者への配食サービス事業やダイヤモンド・金婚式用記念品づくり等に有効に活用させていただきます。



多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。